

ソフトボール部

経済学部 2回生 山口 あかり

1限の授業が始まる前に吉田グラウンドでスポーツをしているところを見たことはあるでしょうか。そのスポーツをしているのは、我々京都大学体育会ソフトボール部です。今回はソフトボールについて、そして弊社について少しでも興味を持っていただければ幸いです。

まずソフトボールそのものにあまり馴染みのない方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。「野球とほぼ一緒でしょ?」。そんな声が聞こえてきそうです。実際1チーム9名でプレーしたり3アウトをとって攻守交替したりするなど、基本的なルールに野球との大きな違いはありません。一目で分かる違いといえばソフトボールならではの黄色いボールとその投げ方くらいでしょうか。しかし野球との違いは他にもあります。そのうちの一つは塁間距離です。ソフトボールにおける塁間距離は野球の塁間距離の約3分の2であり、外野フェンスまでの距離も76mほどです。この塁間距離の狭さゆえに、たとえ足が速くなくても走り方を工夫することでセーフになったりセーフティバントが決まりやすかったりと多様な攻撃の仕方が可能となり、ソフトボールならではの面白さを生み出しています。

ここからは我々京都大学ソフトボール部の魅力について紹介します。まずは国公立大学のなかでも上位に入る強さです。2023年には七大戦で優勝し、2024年の春季リーグでは13年ぶりの関西リーグ1部昇格を果たしました。同年の秋季リーグにおいては1部残留には届かなかったものの、強豪の私立大学を相手に引き分けとなった試合もありました。現在では再び1部に残留する



1部昇格時のチーム写真

こととインカレに出場することを目標に日々練習に励んでいます。2つ目の魅力は弊部の学年の垣根を超えた仲の良さです。2025年3月現在で弊部の部員はマネージャーを含めて21名であり、硬式野球部や他の体育会に所属する部と比べて決して多くありません。しかし、それゆえに部員同士のコミュニケーションは活発です。普段の練習では先輩が後輩にバッティングについてアドバイスしたり、プライベートなことを話したりする姿が見受けられます。こういった日々の交流がチームスポーツとして互いに能力を高めあい、チーム全体で強くなっている秘訣でもあります。

ソフトボールについて、そして弊社について少しでも魅力を感じていただけたでしょうか?我々の活動に関しては弊部の公式ホームページやInstagramを通して随時発信しています。興味を持ってくださった方はぜひのぞいてみてください!



試合に臨むプレイヤーたち



本塁打を放つプレイヤー